

マイナ保険証の利用促進「協力する」は34% 今年になってもトラブル「あった」65% 保険証廃止「反対」90% うち「保険証は併存すべき」約7割

マイナ保険証に関するアンケート／結果概要／ 2024.6.6 大阪府保険医協会

現在、政府はマイナ保険証利用推進の取り組みとして、5月から7月までを「マイナ保険証利用促進集中取組月間」と位置付け、各医療機関に利用促進の協力要請や掲示物が送付されているところです。保団連・保険医協会には、強引な利用促進の押し付けに対する疑問や患者への呼びかけによる窓口で呼びかけによるトラブル事例が寄せられています。そこで大阪府保険医協会は、「マイナ保険証利用促進集中取組月間」の受け止めや、オンライン資格確認・「マイナ保険証」に関するアンケートを5月31日に会員医療機関にFAX送信し、247件の回答が寄せられました。

1. マイナ保険証の利用推進の協力依頼について「協力は考えていない」108

■「協力する」83 →利用促進は「義務」ではないが、「義務と思っていた」22、「思っていない」47

【意見*一部抜粋】協力者からも「強引」「性急」

- ・利用推進はいいが、やり方が強引すぎる。もっと現場の声を聞くべき。
- ・利便性は理解できるが性急すぎる。
- ・ポスターを貼っているが、利用は少ない。
- ・高齢者が多くカードリーダーの接続方法について都度説明が要る為、スタッフ1人が必要。
- ・河野大臣が「通報せよ」と言うので。

■「協力は考えていない」108

【意見*一部抜粋】

- ・不具合多く、とても今の状態では患者様に対し推進できない。
- ・医師、事務、患者の多くが利便性を感じていない。
- ・不具合多く、とても今の状態では患者様に対し推進できない。
- ・マイナンバーカードは紛失の危険があるので常時携帯できない。

■「わからない」45 *無回答11

2. マイナ保険証の有効期限が切れた例はありましたか「あった」43

■「あった」43

【事例*一部抜粋】マイナ保険証（電子証明書）期限切れも「保険証もっていたので確認」

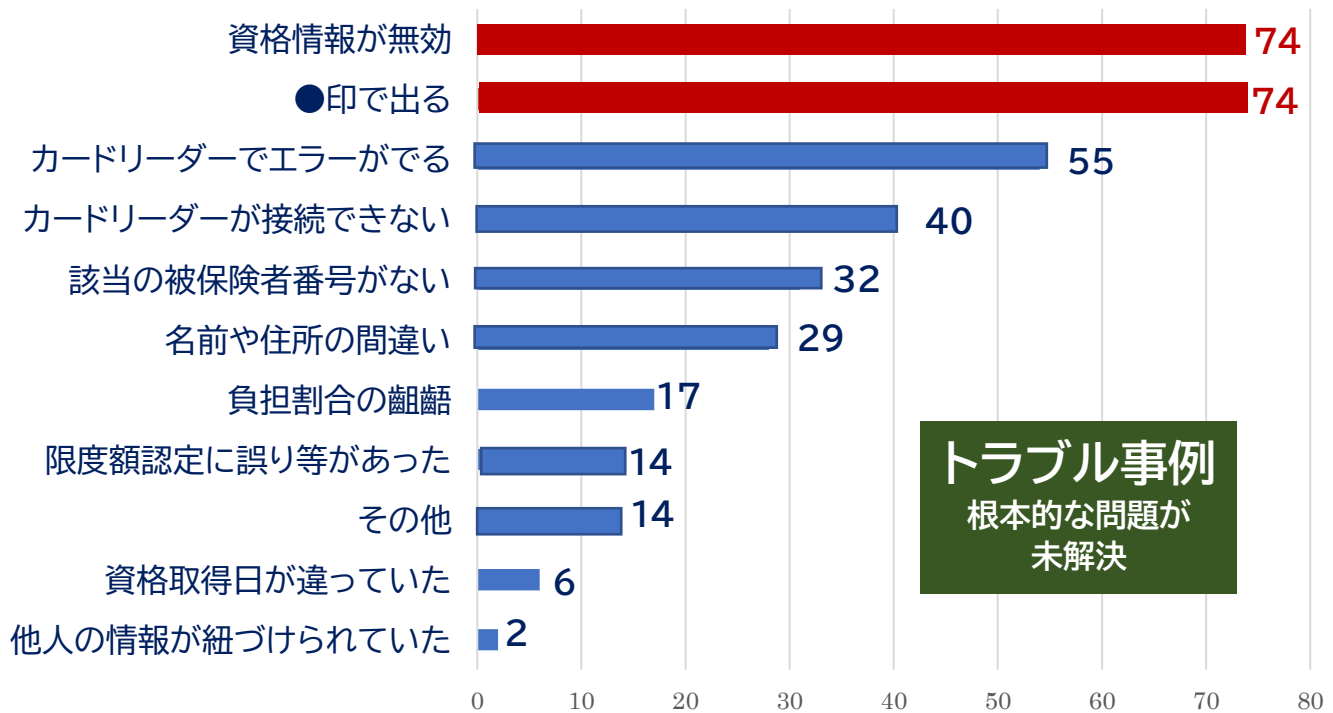
- ・早くに作った高齢者。「マイナンバーカードに有効期限があるのを知らなかった」と。
- ・職員も患者も有効期限があることを知らず、うまく対応できなかった。
- ・初期に作成された方が切れていた。
- ・保険証を持っていたので保険証で確認した。

■「なかった」178 *無回答26

3. 今年1月以降にオンライン資格確認、マイナ保険証のトラブル「あった」160

■「あった」160 次頁に事例一覧

■「なかった」46 *無回答41



【事例 * 一部抜粋】紐づけ点検後も「紐づいていない」事例。根本的な問題が未解決。

- ・会社が変わった際にマイナ保険証だからすぐに反映されると思っていたが、退職して10日たったが反映されていなかった。
- ・「資格がない」と出たので保険組合に問い合わせをした。2か月たっても連携できていない保険組合があった。
- ・2カ月経っても資格は無効。保険証原本で確認して、保険診療している。
- ・社保と国保がどちらも有効と出たケースがありました。社保と国保間で情報はわからないそうです。マイナンバーからは社保が先に表示されるようです。
- ・資格取得日が違うことは多々ある。
- ・保険証原本は交付済みなのにオン資と紐づいていない。
- ・●印が出るのはしょっちゅうある。小さい「つ」「や」等が大きいままなのでエラーに。
- ・後期の3割など割合が間違っていたり、医療証と割合違いが多い。

4. 今年1月以降に保険者からの返戻・減点について 「返戻」43、「減点」8

- 「返戻があった」 43 「月途中の保険資格変更」20 「保険資格なし」11 「負担割合の齟齬」18 「限度額認定」4
- 「減点があった」 8 「月途中の保険資格変更」3 「保険資格なし」2

5. 健康保険証が廃止された場合の受付業務について 「混乱すると思う」93%

- 「変化はないと思う」 12
- 「混乱すると思う」 229 → 「受付業務に忙殺」189 「待ち時間が長く」134 「スタッフ増やさざるを得ない」39

6. 健康保険証の2024年12月2日に廃止されることについて 「反対」90%

- 「賛成」 7
- 「反対」 222 → 「当面延期すべき」37 「保険証は併存すべき」170
- 「賛否どちらとも言えない」 16